



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社イボキン 上場取引所 東
 コード番号 5699 URL <https://www.ibokin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 克実
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山崎 喜博 TEL 0791 (72) 3531
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,012	59.4	322	—	328	344.2	217	353.1
2020年12月期第1四半期	1,262	△27.2	11	△94.6	74	△65.8	47	△67.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 274百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	128.20	—
2020年12月期第1四半期	28.27	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,332	3,221	60.4
2020年12月期	5,172	2,998	58.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 3,223百万円 2020年12月期 2,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,061	29.5	577	76.2	582	42.4	382	33.4	225.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	1,713,600株	2020年12月期	1,713,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	18,233株	2020年12月期	18,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	1,695,367株	2020年12月期 1 Q	1,696,825株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、製造業を中心に、持ち直しの動きが見られます。しかしながら足元では、感染の再拡大が懸念されており、依然、収束時期の見通しが立ちにくく、不透明な経済状況にあります。また、鉄スクラップ等の資源価格については、2020年後半に高騰して以降、高止まりの状況にあります。

このような経済状況の下、当社グループは、前連結会計年度から注力して取り組んで来た新規営業を継続しており、解体・環境・金属の各事業が総合的にニーズを探り出し、解体事業及び、工事現場から発生するスクラップの買取り、産業廃棄物収集運搬・中間処理サービスを提供する「ワンストップ・サービス」をさらに推進させております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,012,786千円（前年同期比59.4%増）、営業利益は322,412千円（前年同四半期は営業利益11,595千円）、経常利益は328,887千円（同344.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は217,360千円（同353.1%増）となりました。

各セグメント別の状況は下記のとおりです。

<解体事業>

解体工事については、完工件数は53件と軟調に推移しましたが、大型案件が4件完工（前年同四半期は大型案件の完工なし）したことにより、売上高と営業利益が伸長しました。

以上により、売上高は638,237千円（前年同期比131.1%増）、営業利益は165,580千円（前年同期比825.7%増）となりました。受注残高については、大型案件の完工による減少がありましたが、総合力を結集した営業活動の結果、527,927千円と依然高い水準を維持しております。

<環境事業>

産業廃棄物処理受託の取扱量は6,156トンと軟調に推移しましたが、再生資源販売の取扱量は3,663トンと堅調に推移しました。前年同四半期においては資源価格が下落傾向にあり、再生資源販売が伸び悩みましたが、当第1四半期連結会計期間においては資源価格が上昇したことで売上高、営業利益ともに伸長しました。

以上により、売上高は422,814千円（前年同期比11.5%増）、営業利益は81,755千円（前年同期比527.7%増）となりました。

<金属事業>

スクラップの取扱量は16,056トンと堅調に推移しました。鉄スクラップ等の資源価格については、前連結会計年度の下半期に高騰して以降、高止まりの状況にあり、増収に寄与しました。前年同四半期においては鉄スクラップ価格が下落する傾向が続いたことにより売買差益が減少し、減益となっておりましたが、当第1四半期連結会計期間においては、売買差益を確保することができました。

以上により、売上高は951,734千円（前年同期比56.8%増）、営業利益は75,076千円（前年同四半期は営業損失19,315千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,332,776千円となり、前連結会計年度末に比べて160,499千円増加しました。流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて134,494千円増加の2,859,370千円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて26,005千円増加の2,473,405千円となりました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,111,211千円となり、前連結会計年度末に比べて62,650千円減少しました。流動負債は、未成工事受入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて24,233千円減少の1,501,191千円となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて38,416千円減少の610,019千円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて223,149千円増加し、3,221,565千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の連結業績予想、及び配当予想を以下の通り修正することと致しました。

① 業績予想

2021年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,145	百万円 328	百万円 333	百万円 216	円 銭 127.89
今回修正予想 (B)	7,061	577	582	382	225.31
増減額 (B-A)	916	249	249	166	—
増減率 (%)	14.9	75.9	74.8	76.9	—
(参考) 前期実績 (2020年12月期)	5,453	327	408	286	168.93

修正の理由

2021年12月期第1四半期連結累計期間においては、鉄スクラップ相場は高止まりし、また、銅スクラップ相場は引き続き上昇傾向にあり、前回公表の通期業績を予想するうえで前提とした相場水準を上回りました。そのため環境事業、及び金属事業での増収・増益要因となりました。また、解体事業において、第2四半期連結会計期間内の完工を予定していた大型案件の完工が早まり、第1四半期連結累計期間の増収・増益に寄与しました。

今後のスクラップ価格については、当連結会計年度の中ごろには当初予想していた水準まで調整されるものと想定しております。また、今後の解体事業の受注残等も考慮し、総合的に検討した結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のそれぞれを上記の通り修正することと致しました。

② 配当予想

2021年12月期 期末配当予想の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	—	30円00銭	30円00銭
今回修正予想	—	40円00銭	40円00銭
前期実績 (2020年12月期)	0円00銭	30円00銭	30円00銭

修正の理由

当社は、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勧奨して配当を行うことを基本方針としております。

今回の業績予想の修正に伴い、年間配当金を前回公表から10円増配し40円00銭に修正致します。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の影響等、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,528,025	1,678,573
受取手形及び売掛金	607,585	631,188
完成工事未収入金	47,504	182,901
商品及び製品	3,819	3,624
仕掛品	5,353	5,527
原材料及び貯蔵品	98,571	94,872
未成工事支出金	384,394	225,004
その他	49,682	37,750
貸倒引当金	△60	△72
流動資産合計	2,724,876	2,859,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	292,323	290,696
機械装置及び運搬具（純額）	565,596	544,021
最終処分場（純額）	71,022	70,802
土地	856,650	856,650
リース資産（純額）	173,005	166,565
建設仮勘定	17,019	17,019
その他	28,817	28,179
有形固定資産合計	2,004,435	1,973,934
無形固定資産		
のれん	3,035	2,428
その他	25,422	24,640
無形固定資産合計	28,458	27,068
投資その他の資産		
投資有価証券	193,532	275,437
保険積立金	117,960	119,670
繰延税金資産	60,240	35,285
その他	42,772	42,008
投資その他の資産合計	414,507	472,402
固定資産合計	2,447,400	2,473,405
資産合計	5,172,277	5,332,776

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	269,381	341,814
工事未払金	129,369	120,054
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	153,159	152,832
リース債務	37,328	35,989
未払金	71,958	63,269
未払法人税等	64,172	115,963
未成工事受入金	340,514	155,460
賞与引当金	43,825	45,719
受注損失引当金	59,430	55,457
その他	156,285	214,631
流動負債合計	1,525,425	1,501,191
固定負債		
長期借入金	232,161	188,595
リース債務	126,867	124,219
役員退職慰労引当金	243,937	252,925
退職給付に係る負債	15,963	14,774
資産除去債務	29,505	29,505
固定負債合計	648,435	610,019
負債合計	2,173,861	2,111,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,598	130,598
資本剰余金	945,418	945,418
利益剰余金	2,023,256	2,189,756
自己株式	△50,597	△50,597
株主資本合計	3,048,675	3,215,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△50,259	6,389
その他の包括利益累計額合計	△50,259	6,389
純資産合計	2,998,415	3,221,565
負債純資産合計	5,172,277	5,332,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,262,430	2,012,786
売上原価	1,041,884	1,499,211
売上総利益	220,546	513,574
販売費及び一般管理費	208,951	191,162
営業利益	11,595	322,412
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	30	30
受取手数料	1,147	1,194
保険解約返戻金	57,576	—
助成金収入	—	6,695
その他	4,836	1,054
営業外収益合計	63,610	8,992
営業外費用		
支払利息	704	2,393
支払手数料	249	—
その他	209	123
営業外費用合計	1,162	2,516
経常利益	74,043	328,887
特別利益		
固定資産売却益	5,586	243
特別利益合計	5,586	243
税金等調整前四半期純利益	79,629	329,130
法人税等	31,656	111,770
四半期純利益	47,972	217,360
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,972	217,360

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	47,972	217,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,519	56,649
その他の包括利益合計	△73,519	56,649
四半期包括利益	△25,547	274,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,547	274,010
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	276,114	379,156	607,159	1,262,430	—	1,262,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,828	38,421	3,285	55,535	△55,535	—
計	289,942	417,578	610,445	1,317,966	△55,535	1,262,430
セグメント利益又は損失（△）	17,886	13,024	△19,315	11,595	—	11,595

（注） セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	638,237	422,814	951,734	2,012,786	—	2,012,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,340	73,893	6,452	92,686	△92,686	—
計	650,578	496,707	958,187	2,105,473	△92,686	2,012,786
セグメント利益	165,580	81,755	75,076	322,412	—	322,412

（注） セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。